

保育理念		保育方針			
子どもの豊かな人間性を育む保育を目指し、それぞれの【生きる力(基礎)の育成】 社会的自立を目標にする。		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの豊かな伸びていく可能性が未来に花開いていくように、家庭や地域、小学校と連携し、人とのふれあい、支えあいの日々の経験の中で豊かな人間性を育む・・・(養護し、教育する) 安心して預けられる 「子どもが真ん中の」 保育園づくりに努め、子育てを応援します。 上塩の愛情いっぱい環境の中で、まず人を信頼する心を育て、信頼される人になってほしいと考えます。 (愛し、愛される人に・・・) 			
(アクティブラーニングの実現)・・・(主体的・対話的で深い学びの実現)・・・ 努力する。 (保育所保育指針ハンドブック・・・P64)		6歳くらいまでの子どもは、自己中心期にいます。「みなさん」という一斉保育ではなく、個別保育【子どもを主体にした保育】が大切と言われています。			
年齢別保育目標	乳児 (保育士の関わり)	3歳児	4歳児	5歳児	特色ある保育
明るく 素元 気	1歳児	生理的欲求を満たし生活リズムをつかむ。	3歳児	象徵機能や観察力を発揮する。	<ul style="list-style-type: none"> 小規模保育園の良さを生かす保育 【自己肯定感を、育む、あったかい我が家】・・・一人ひとりの発達過程を暖かく援助し、育む保育 豊かな自然環境のなかで自己肯定感を育む地域ぐるみの保育(地域活動の畑づくり・クッキング保育。) 和太鼓(演奏会・発表会に地域の人を招待。)
	2歳児	未知の世界に興味を持ち活発になる。	4歳児	感情が豊かになり我慢ができるようになる。	
	2歳児	行動範囲が広がり探索活動が盛んになる。	5歳児	集団活動の中で意欲的に活動し新しい知識や能力を獲得する。	保育時間
7:30～18:30 (延長18:30～19:00)					

3つの柱	乳児 (保育士の関わり)		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	評価	反省点	改善点	
	知識・技能の基礎	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、出来るようになったりするために。(知識・技能の基礎)	・身近なものにかかわろうとする	・様々なものに保育士と一緒に関わる。	・基本的な生活習慣を取得する。	・様々な気付きや発見を喜ぶ。	・日常生活に必要な言葉を理解する。				・規則、法則性などに気づく。
	思考力・判断力・表現力等の基礎	・気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするために。(思考力、判断力、表現力等の基礎)	・喜怒哀楽などの豊かな感情を育む。	・自分の思いや気持ちを伝えようとする。	・様々な活動に参加する楽しさを味わう。	・試したり工夫したりすることを楽しむ。	・様々な表現で伝え合う楽しさを味わう。	・見通しを立てたり、振り返ったりする。	・おおむね〇	・子どもが気付いたことや、できるようになったことを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現できるように工夫、配慮する。	・より一層の配慮に努める。(工夫する)
	学びに向かう力、人間性等の基礎	・心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとするために。(学びに向かう力、人間性等の基礎)	・安定した生活リズムを見つける。	・安心して過ごす。	・安定した園生活を過ごす。	・人と関わる楽しさを知る。	・相手の気持ちを考えたり、受容したりする	・自然現象や社会現象に興味を持つ。	・おおむね〇	・心情、意欲、態度が育つ中でよりよい生活を営もうとするために、子ども達の生活を送れるよう工夫、配慮する。子ども達のそれぞれの育ちに気づき、認め一緒に喜び合う。	・より一層の配慮に努める。(工夫する)

養護	乳児 (保育士の関わり)		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	評価	反省点	改善点
	生命の保持	・生活リズムを整うように配慮。 ・生理的欲求の充実。	・安心・安全に過ごす。 ・健康状態の把握。	・基本的な生活習慣の取得。 ・個々に応じた援助。	・適切な運動と休息。 ・生理的欲求の満足。	・健康で安全な生活を送る。 ・小学校に向けて意欲・健康増進。	・おおむね〇			
	情緒の安定	・心地よさや安心感が得られるように配慮。 ・人と物との関わり。	・欲求を満たす。 ・人と物との関わり。	・信頼関係を築く。 ・自己主張への配慮。	・自我を大切に主体的に行動できるようにする。 ・伸び伸びと活動に参加する。	・意欲や自信を持つ。 ・想像力の豊かさ。	・おおむね〇	・一人ひとりの子どもの心に寄り添い、安心して生活できるように努める。(工夫する。)		

教育	3つの視点		乳児 (保育士の関わり)	5領域	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	評価	反省点	改善点
	健康やかに伸び伸びと育つ	身近な人と気持ちが通じ合う	身近なものに関わり感性が育つ	健康	・歩行が安定して行動範囲が広がる。 ・全身を使って遊ぶことを楽しむ。 ・運動機能の発達。	・新しい生活に慣れる。 ・手伝わしてもらいながら自分でしようとする気持ちをもつ。	・自分でしようとする意欲をもつ。 ・身の回りの始末をする。 ・バランスのとれた運動と休息。	・園生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ・危険や安全について理解する。	・健康な生活習慣の取得。 ・様々な運動に興味を持つ。 ・自主性や自立心の育成。			
				人間関係	・友達への関心をもつ。 ・保育者とのやり取りを楽しむ。 ・自立を育成。	・保育者や友達と触れ合い共感関係、構築の養成。 ・安心して過ごす。	・保育者や友達へ親しみをもつ。 ・安心して活動に参加する。 ・道徳性の芽生え。	・ルールを守って遊ぶ。 ・友達との遊びを発展させる。 ・愛情と信頼の深化。	・相手の気持ちや考えを理解しようとする。 ・自分の役割への責任感をもつ。 ・さらなる愛情と信頼の深化。	・おおむね〇	・地域、くらし元氣アップほのほの方たちとの交流を取り入れ、身に付けられるように努める。(工夫する。)	
				環境	・身近な自然に親しみをもつ。 ・様々なものを見たり触れたりする。 ・応答的な大人との関わり。	・植物や小動物と触れ合ったり、自然現象への関心をもつ。 ・生活の流れを知り、自分でもやってみようとする。	・身近な環境への関心。 ・自然の不思議さへの気づき。	・共同のものを大切にする。 ・自然の美しさに触れる。	・公共の場での行動の仕方を知る。 ・身近な動植物に興味をもって観察する。 ・数量、図形、文字などの関心。	・おおむね〇	・上塩地域の多彩な環境の中で様々な事象を体験できるよう努める。(工夫する。)	
				言葉	・保育士を真似て言葉を発する。 ・自分の思いを動作や言葉で伝えようとする。	・生活に必要な簡単な言葉を知る。 ・言葉で伝えようとする。	・言葉のやりとりの楽しさを知る。 ・挨拶への親しみ。 ・必要な言葉の理解と使用。	・体験したことを言葉で伝える。 ・物語に親しみをもつ。 ・豊富な言葉の使用。	・相手に伝えるように話す。 ・地域や情報に関心をもってかかわる。 ・読書への関心。	・おおむね〇	・日々の活動、保育の中でたくさんの言葉、感性等が習得できるよう努める。(工夫する。)	
				表現	・音楽に合わせて体をゆらす。 ・様々な素材に触れる。	・絵本や物語に親しみをもつ。 ・様々な素材に関心をもつ。	・様々な素材に触れる。 ・様々な音やリズムを楽しむ。	・物語に親しみをもって想像を膨らませる。 ・自由に表現する楽しさを知る。 ・感動の共有。	・想像を豊かにする。 ・感情を込めたり、イメージした表現ができる。 ・豊かな感性による表現。	・おおむね〇	・いろいろな活動、行事を通して表現する楽しさを味わえるように努める。(工夫する。)	

育	評価		おおむね〇					
	反省点	改善点	達成できるように努力する。(工夫する。)	達成できるように努力する。(工夫する。)	達成できるように努力する。(工夫する。)	達成できるように努力する。(工夫する。)	達成できるように努力する。(工夫する。)	達成できるように努力する。(工夫する。)
			一層の配慮に努める。(工夫する。)	一層の配慮に努める。(工夫する。)	一層の配慮に努める。(工夫する。)	一層の配慮に努める。(工夫する。)	一層の配慮に努める。(工夫する。)	一層の配慮に努める。(工夫する。)
	幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の 姿 (基礎)							
	<ul style="list-style-type: none"> 1、健康な心と体。 2、自立心。 3、協同性。 4、道徳性・規範意識の芽生え。 5、社会生活との関わり。 6、思考力の芽生え。 7、自然との関わり・生命尊重。 8、数量や図形、標識や文字などへの関心。 9、言葉による伝え合い。 10、豊かな感性と表現。 		<p>・・・「幼児期の終わりまでに、育ってほしい姿」とは・・・ 毎日の保育の積み重ねが・・・その姿につながっていくことを意識したいものです。</p> <p>* 育ってほしい姿とは・・・到達目標ではありません・・・生活の中に、こうゆう姿が現れてくる。 *「どうゆう気持ちや、意欲が育っているか?」「どうゆう態度が育っているか?」・・・・・・・・・・・・・・保育指針ハンドブック・P42</p>					

健康及び安全	健康支援		食育の推進		災害への備え		子育て支援	小学校との連携	職員
	・健康状態、発育発達状態の定期的、継続的な把握。 ・地域との交流。 ・年2回の嘱託医による(内科健診、歯科検診)。 ・異常が認められたときの適切な対応。	・食育計画の作成と実施。 ・地域との交流。 ・嘱託医との連携。 ・アレルギーをもつ子どもへの対応。	・環境・衛生管理・安全管理 ・空気清浄機全室設置。(インフルエンザ等感染予防) ・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒。 ・施設内外の設備、用具等安全管理及び自主点検。 ・子ども及び職員の清潔保持。 ・年1回の外部業者による点検及び園庭整備。	・災害時の対応マニュアルを作成し、避難訓練の際に周知徹底。 ・消防署、地域との連携。 ・毎月避難訓練。(火災・地震、不審者対応) ・建築基準法第12条に基づく定期調査。 ・年1回外部業者による消防設備点検。 ・消防署立ち入り検査。 ・通報訓練、消火訓練の実施。 ・地域への幼年消防隊、火の用心呼びかけ	・園庭開放、遊びの教室のかいこう日以外でも、(いつでも、なやんでないで、遊びにおいでください。) ・上塩小との交流。 ・保育実習生の受け入れ。 ・中学生の体験学習。 ・長岡市くらし元氣アップ事業(空き部屋)(利用者と子ども達との交流) ・希望があれば、一時預かり、延長、保育	・幼児と児童の交流会。 ・意見交換会(教員との情報交換等) ・上塩小学校文化祭参加。(音楽発表会・・・和太鼓) ・人形劇に招待。 ・保育士、授業参観。 ・教諭による保育参観。			

社会的責任	子どもの人権		説明責任		個人情報と苦情の取扱い		保育計画	自己評価	園の評価
	・子どもの人権には、十分に配慮し、子どもの一人ひとりの 人格 を尊重する。	・地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に 保育の内容 を適切に分かりやすい言葉で 説明 する。	・子どもの個人情報、個人情報取り扱い規程に基づいて適切に取り扱う。 ・苦情については、苦情取扱い規程で定められている手順と方法にて速やかに、その解決を図る。	・年・月の指導計画 ・食育計画	・自己チェックリストの実施。 ・研究保育を通しての評価。	・第三者評価シミュレーションを使用して評価する。			

* 複雑な社会を生き抜くために・・・
くじけない、しなやかなで豊かな **心** を育てる。
「**社会的動スキ**ル」・非認知的能力の **基礎** が大きく育つのは**乳幼児期**。とりわけ **0、1、2歳代**とされている。
「～する気持ちがでてきた」
「意欲が高まった」
「態度で示せる」
気持ちの育ち・プロセス を評価する。

「**社会的動スキ**ル」がしっかり育っていると・・・ (頑張れどころでは頑張ることができる力、または楽天的であること等・・・)
社会に出たときに挫折することが少なく、もし、困難なことが起こっても・・・
自分を大事にして生きていくことができる。 そうゆう大人になっていくことが分かってきた。**保育所保育指針 ハンドブック P136**